



**2022年3月期
決算説明資料**

2022年4月28日
SGホールディングス株式会社

1.	2022年3月期 決算概要	1～9
2.	2023年3月期 業績予想	10～15
3.	2023年3月期の取組み	16～18
4.	参考資料	19～26

2022年3月期のハイライト

デリバリー事業では、EC市場規模の拡大を背景に、宅配便の取扱個数が堅調に推移。ロジスティクス事業では、世界的なサプライチェーンの混乱が継続し、海上・航空運賃が高止まりするなか、コンテナスペースの確保に注力し、旺盛な顧客の需要に対応したことで好調を維持。これらを主要因として、2022年3月期の業績は好調に推移した。

● 業界関連

- ・ ニューノーマルが定着し、eコマース等のラストワンマイル市場は活況を呈す
- ・ コロナ禍に加え地政学リスク拡大の影響もあり、グローバルサプライチェーンの混乱は継続
- ・ 脱炭素、2024年問題への対応、及びガバナンスの強化等、ESGの取組みがさらに加速

● 当社業績の概況

- ・ 宅配便は、EC市場規模の拡大を背景に、取扱個数が前年を上回る
- ・ エクスボランカ社⁽¹⁾が海上・航空コンテナのスペースの確保に注力し、顧客の旺盛な需要に対応
- ・ デジタルイノベーションや施設投資等、省人化やネットワーク効率化などの取組みを継続
- ・ ESG情報開示を積極的に行い、世界的なESG評価機関であるMSCI社より「AAA」の最高評価を獲得

注記 (1) エクスボランカ HOLDINGS PLCは、スリランカに本社を置く当社の連結子会社

連結業績サマリー

(億円)	2021年3月期	2022年3月期	前期比
営業収益	13,120	15,883	121.1%
営業利益 (営業利益率)	1,017 (7.8%)	1,557 (9.8%)	153.1%
経常利益	1,036	1,602	154.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	743	1,067	143.6%
EBITDA	1,281	1,887	147.3%
年間配当金	35円 ⁽²⁾	50円	

注記 (1)億円未満切り捨て(2)当社は、2020年11月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2021年3月期の年間配当金は期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の金額を記載しています

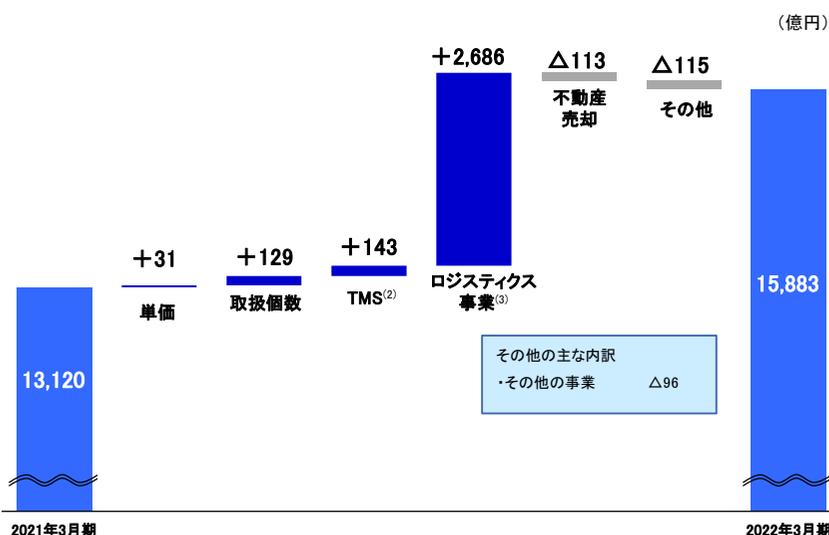
■ 当社グループの業績（前期との比較）

- 営業収益： + 2,762億円
- 営業利益： + 539億円
- 経常利益： + 566億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： + 323億円
- EBITDA： + 606億円

■ 2022年3月期 配当金

- 中間：20円（前期 18円）
- 期末：30円（前期 17円）

営業収益の増減分析



注記 (1)億円未満切り捨て (2) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (3) TMSを除く

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

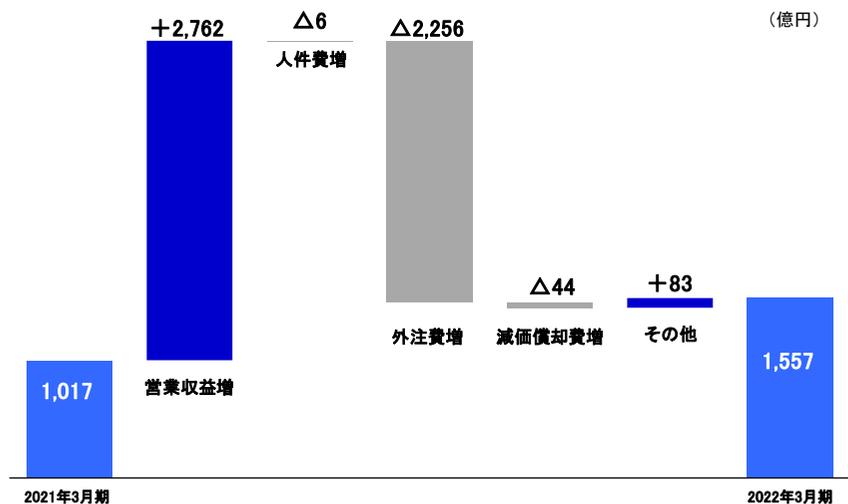
■ 宅配便・TMSの実績（前期との比較）

- 平均単価 : 646円（前期差 + 2円 前期比100.3%）
- 取扱個数 : 1,423百万個（前期差 + 20百万個 前期比101.4%）
- TMS : 1,076億円（前期差 + 143億円 前期比115.4%）

■ エクスプランカ社（ロジスティクス事業）の実績

- 営業収益 : 3,777億円（前期差 +2,546億円 前期比306.9%）

営業利益の増減分析



注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

■ 主な費用の内訳

単位：億円

科目	22年3月期	前期差	前期比	主な要因
人件費	4,439	+6	100.1%	ロジスティクス事業の増収
外注費	8,044	+2,256	139.0%	
減価償却費	304	+44	116.9%	Xフロンティア等の施設投資
その他 (燃料費含む)	1,537	△83	94.8%	保有不動産の売却規模縮小
合計	14,326	+2,223	118.4%	

セグメント別業績

(億円)	2021年3月期	2022年3月期	前期比
営業収益 合計	13,120	15,883	121.1%
デリバリー事業	10,149	10,431	102.8%
ロジスティクス事業	2,078	4,770	229.6%
不動産事業	228	112	49.4%
その他の事業	664	568	85.5%
営業利益 合計	1,017	1,557	153.1%
デリバリー事業	714	932	130.4%
ロジスティクス事業	127	484	380.2%
不動産事業	113	66	58.4%
その他の事業	42	46	110.7%
調整額	19	27	141.4%

注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

■ 主な営業利益の増減の内訳（前期との比較）

- デリバリー事業 : + 217億円
 - 宅配便の単価上昇、TMSの増加、一時金の減少
- ロジスティクス事業 : + 357億円
 - エクスポランカ社実績：438億円（前期差+345億円 前期比 468.9%）
- 不動産事業 : △ 47億円
 - 保有不動産売却規模の縮小
- その他の事業 : + 4億円

セグメント別業績概要

デリバリー事業

- ニューノーマルが定着し、eコマース等の通信販売の出荷は引き続き堅調に推移
- 越境ECの取引が拡大し、サイズの小さい荷物が増加したことで、単価は昨年とほぼ同値
- TMSはGOAL_®⁽¹⁾による提案営業により好調に推移
- 佐川急便株式会社と日本郵便株式会社との間で、持続可能な輸配送の実現に向け、幹線輸送の共同化などの取組みを開始

ロジスティクス事業

- エクスポートが海上・航空コンテナのスペースの確保に注力し、顧客の旺盛な需要に対応
- GOAL_®による包括的なソリューション営業により、3PL等の新規案件を受託

不動産事業

- 第4四半期に、当初予定に対し規模を縮小し、保有不動産の売却を実施

その他の事業

- BPO取引が増加
- 自動車販売及びe-コレクト_®⁽²⁾が減少

注記 (1)「GOAL_®」はSGホールディングス株の登録商標
(2)「e-コレクト_®」はSGホールディングス株の登録商標

連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2021年3月期末	2022年3月期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,212	818
投資活動によるキャッシュ・フロー	5	△ 452
フリーキャッシュ・フロー	1,217	365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,219	△ 253
現金及び現金同等物の増減額	4	182
現金及び現金同等物の期末残高	691	873

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

■ 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 818億円
 主な内容： 税金等調整前当期純利益 1,606億円
 減価償却費 303億円
 賞与引当金の増減額 (△は減少) 6億円
 売上債権の増減額 (△は増加) △ 879億円
 仕入債務の増減額 (△は減少) 214億円
 前払金の増減額 (△は増加) △ 70億円
 預り金の増減額 (△は減少) △ 11億円
 法人税等の支払額 △ 388億円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー △ 452億円
 主な内容： 有形固定資産の取得による支出 △ 532億円
 無形固定資産の取得による支出 △ 61億円
 投資有価証券の売却による収入 151億円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー △ 253億円
 主な内容： 配当金の支払額 △ 240億円

連結貸借対照表

(億円)	2021年3月期末	2022年3月期末	(億円)	2021年3月期末	2022年3月期末
流動資産	3,036	3,896	負債	3,854	4,098
現金及び預金	691	873	買掛債務	797	937
営業債権及び その他の債権	1,878	2,478	有利子負債	1,237	1,352
棚卸資産	307	297	その他	1,818	1,808
その他流動資産	158	247	純資産	4,048	5,119
固定資産	4,866	5,321	親会社株主帰属分	3,983	4,963
有形固定資産	3,528	3,872	非支配株主持分	65	155
のれん	40	23			
その他固定資産	1,297	1,424	負債純資産合計	7,902	9,217
資産合計	7,902	9,217			

注記 億円未満切り捨て

■ 自己資本比率

- 自己資本比率 : 53.8 % (前期末比+3.4ポイント)

1.	2022年3月期 決算概要	1～9
2.	2023年3月期 業績予想	10～15
3.	2023年3月期の取組み	16～18
4.	参考資料	19～26

連結業績予想及び配当予想について

(億円)		2022年3月期 実績	2023年3月期 業績予想	前期比
		営業収益	15,883	16,500
営業利益 (営業利益率)	1,557 (9.8%)	1,420 (8.6%)	91.2%	
経常利益	1,602	1,430	89.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,067	960	89.9%	
1株当たり 配当金	第2四半期末	20円	25円	
	期末	30円	26円	
	合計	50円	51円	

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2023年3月期業績予想の前提: デリバリー事業平均単価647円、取扱個数14.3億個

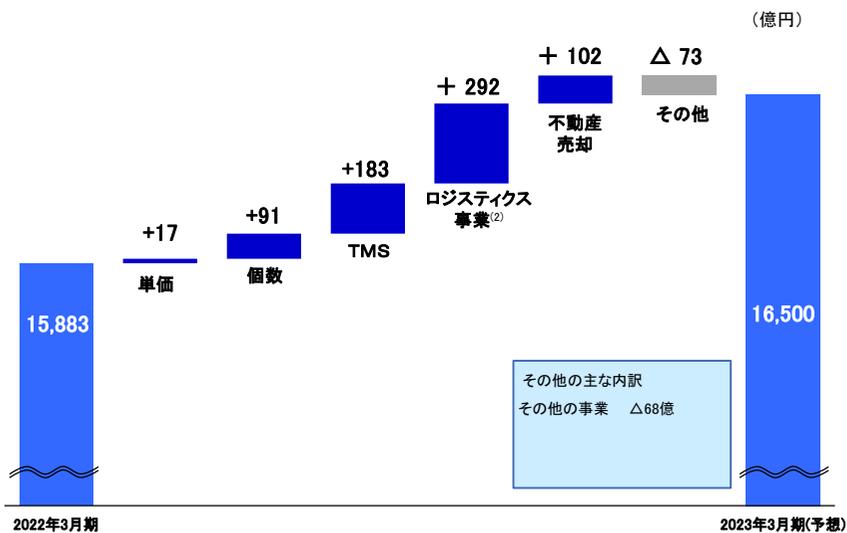
Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 2023年3月期の業績予想（前期との比較）

2022年3月期の業績と足元の状況をふまえ、2023年3月期業績予想を策定

- 営業収益： + 616億円
- 営業利益： △ 137億円
- 経常利益： △ 172億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： △ 107億円

営業収益予想の増減分析



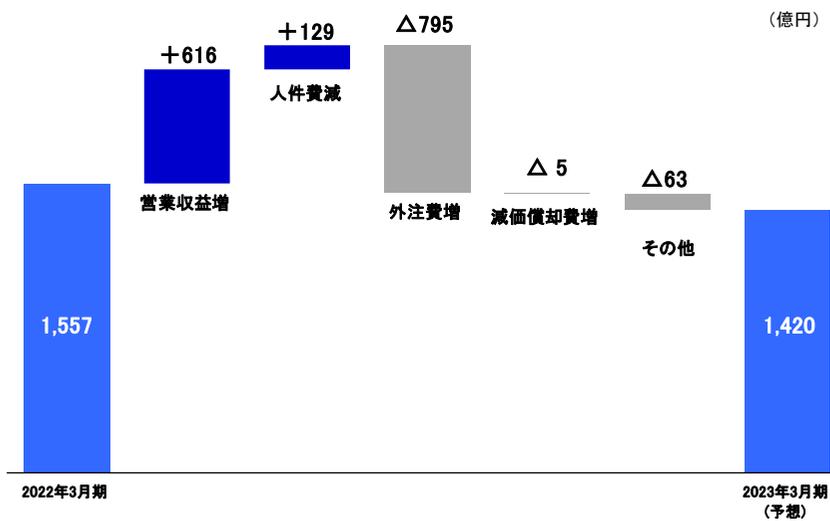
注記 (1)億円未満切り捨て (2) TMSを除く

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 2023年3月期業績予想

- 平均単価 : 647円 (前期比 100.2%)
- 取扱個数 : 14.3億個 (前期比 101.0%)
- TMS : 1,260億円 (前期比 117.1%)

営業利益予想の増減分析



注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

■ 2023年3月期業績予想

- 営業収益 : 1兆6,500億円 (前期比 103.9%)
- 人件費 : 4,310億円 (前期比 97.1%)
- 外注費 : 8,840億円 (前期比 109.9%)
- 減価償却費 : 310億円 (前期比 101.8%)

連結業績予想(第2四半期累計)

(億円)	2022年3月期 第2四半期累計 実績	2023年3月期 第2四半期累計 業績予想	前年同期比
営業収益	7,260	8,100	111.6%
営業利益 (営業利益率)	588 (8.1%)	610 (7.5%)	103.6%
経常利益	588	610	103.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	398	410	102.9%

注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

■ 2023年3月期第2四半期累計の業績予想 (前年同期との比較)

- 営業収益 : + 839億円
- 営業利益 : + 21億円
- 経常利益 : + 21億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : + 11億円

1.	2022年3月期 決算概要	1～9
2.	2023年3月期 業績予想	10～15
3.	2023年3月期の取組み	16～18
4.	参考資料	19～26

2023年3月期の取組み①

TMSの成長戦略

**既存領域での利用拡大を目指しつつ、
チャレンジ領域を拡充する**

**当社グループならではの
競争優位性**

領域	主な顧客
既存領域	<ul style="list-style-type: none"> 生活用品・嗜好品 情報通信等 食品・農業 流通・外食 運輸・物流企業からの受託 他
チャレンジ領域	<ul style="list-style-type: none"> 重工業 メディカル グローバル 自治体支援 他

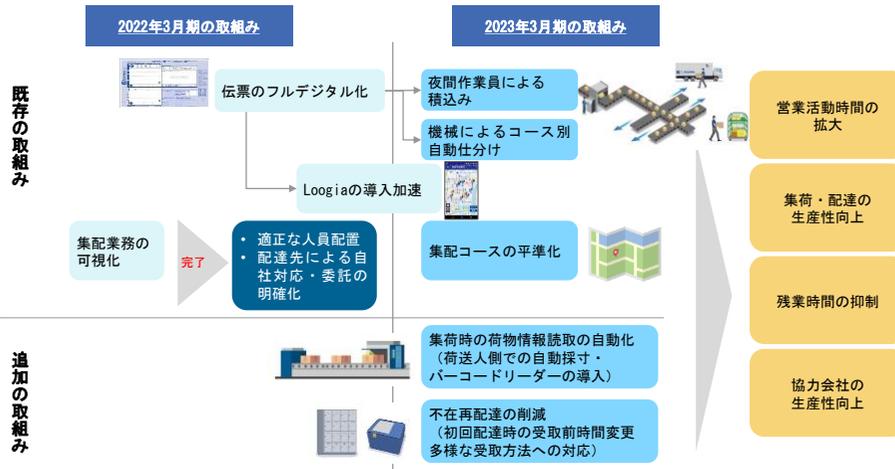
約3万人のセールスドライバーによる
営業活動

グループ会社のあらゆるリソースの活用
(3PL、フォワーディング、
海外ビジネス等)

8,000台を超える
協力会社の車両台数

2023年3月期の取組み②

デジタルライゼーションの取組みについて



1.	2022年3月期 決算概要	1～9
2.	2023年3月期 業績予想	10～15
3.	2022年3月期の取組み	16～18
4.	参考資料	19～26

連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比
営業収益	3,475	109.4%	3,785	119.3%	4,405	126.9%	4,217	127.8%	15,883	121.1%
営業利益 (営業利益率)	289 (8.3%)	104.4%	299 (7.9%)	120.8%	559 (12.7%)	155.3%	408 (9.7%)	309.9%	1,557 (9.8%)	153.1%
経常利益	296	102.9%	292	121.8%	577	155.3%	436	319.3%	1,602	154.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	206	119.9%	191	95.5%	401	155.2%	267	239.2%	1,067	143.6%
EBITDA	361	106.3%	376	120.7%	638	150.1%	510	250.9%	1,887	147.3%

注記 億円未満切り捨て

セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前期比
営業収益 合計	3,475	109.4%	3,785	119.3%	4,405	126.9%	4,217	127.8%	15,883	121.1%
デリバリー事業	2,543	104.6%	2,529	101.5%	2,830	103.2%	2,527	101.8%	10,431	102.8%
ロジスティクス事業	770	189.1%	1,082	219.9%	1,413	257.7%	1,503	238.8%	4,770	229.6%
不動産事業	19	11.5%	18	99.1%	18	94.4%	56	314.9%	112	49.4%
その他の事業	140	86.3%	154	91.3%	143	88.9%	130	76.0%	568	85.5%
営業利益 合計	289	104.4%	299	120.8%	559	155.3%	408	309.9%	1,557	153.1%
デリバリー事業	202	129.4%	177	98.4%	366	124.1%	185	224.4%	932	130.4%
ロジスティクス事業	57	280.1%	90	209.3%	163	441.6%	173	646.8%	484	380.2%
不動産事業	14	16.7%	10	99.2%	9	81.5%	31	513.1%	66	58.4%
その他の事業	9	101.5%	15	154.1%	10	112.5%	11	84.4%	46	110.7%
調整額	6	88.8%	5	163.0%	9	137.4%	6	258.5%	27	141.4%

注記 億円未満切り捨て

エクスポランカ社の実績

(億円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比								
営業収益	533	256.3%	836	296.9%	1,196	364.8%	1,211	293.2%	3,777	306.9%
営業利益	43	313.2%	81	247.0%	152	575.3%	161	803.7%	438	468.9%
航空 数量(千t) ⁽²⁾	42	197.5%	60	162.7%	57	139.2%	37	121.9%	198	151.5%
海上 数量(千TEU) ⁽²⁾	72	275.1%	73	155.9%	66	119.3%	69	117.0%	281	149.4%

注記 (1)億円未満切り捨て (2)小数点以下切り捨て

商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年比
取扱個数 ⁽¹⁾ 合計	347	101.5%	343	99.9%	383	101.8%	349	102.5%	1,423	101.4%
飛脚宅配便 ⁽²⁾⁽⁴⁾	333	101.4%	330	100.0%	369	102.0%	336	102.8%	1,369	101.6%
その他 ⁽³⁾	13	105.9%	13	96.0%	14	95.8%	12	94.4%	54	97.9%
平均単価	645	101.8%	648	100.7%	649	99.8%	641	99.2%	646	100.3%

e-コレクト。個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年比
個数	19	87.4%	17	78.9%	18	81.9%	16	85.3%	72	83.3%
決済金額	2,274	92.2%	2,084	82.1%	2,306	84.4%	1,942	86.3%	8,607	86.1%

TMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年比
売上高	249	117.6%	270	115.5%	276	111.7%	279	117.4%	1,076	115.4%

地域ごとの情報

(億円)	22年3月期	
	22年3月期	前年比
営業収益	15,883	121.1%
日本	11,823	101.7%
海外	4,060	272.4%

注記 (1)億円未満切り捨て。(2)飛脚宅配便。は、佐川急便株式が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3)その他は、飛脚ラージサイズ宅配便。⁽⁴⁾及びその他の会社の取扱個数
⁽⁴⁾「飛脚宅配便。」、「飛脚ラージサイズ宅配便。」はSGホールディングス株式の登録商標

営業費用の内訳

連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前期比
営業費用 合計	3,186	109.9%	3,485	119.2%	3,846	123.6%	3,808	120.2%	14,326	118.4%
人件費	1,093	99.7%	1,114	101.9%	1,137	103.0%	1,094	96.1%	4,439	100.1%
外注費(備車費含む)	1,656	127.4%	1,909	138.4%	2,244	144.3%	2,233	143.9%	8,044	139.0%
燃料費	26	129.2%	31	123.5%	32	133.9%	30	128.4%	120	128.7%
減価償却費	72	115.2%	74	116.3%	77	120.4%	79	115.8%	304	116.9%
その他経費	337	80.5%	355	98.5%	353	97.5%	370	96.2%	1,416	92.7%

デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前期比
営業費用 合計	2,453	103.0%	2,467	102.1%	2,580	100.8%	2,455	98.1%	9,956	101.0%
人件費	939	97.4%	955	99.9%	955	99.9%	897	90.9%	3,747	97.0%
外注費(備車費含む)	1,178	107.3%	1,169	103.6%	1,272	101.2%	1,204	102.3%	4,824	103.5%
燃料費	26	129.2%	31	124.0%	31	134.0%	29	128.0%	119	128.7%
減価償却費	51	116.5%	53	119.0%	53	120.1%	54	112.9%	212	117.0%
その他経費	257	101.6%	258	98.3%	266	96.0%	270	101.2%	1,052	99.2%

注記 億円未満切り捨て

従業員・車両・拠点の状況

(人、台、店)		2021年3月期末	2022年3月期末
連結従業員数	合計	97,774	96,536
(うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		(45,753)	(44,211)
デリバリー事業		79,902 (36,839)	78,073 (34,862)
ロジスティクス事業		13,172 (6,886)	13,466 (6,992)
不動産事業		63 (-)	72 (-)
その他の事業		3,888 (1,801)	4,179 (2,148)
全社(共通)		749 (227)	746 (209)
佐川 急便	車両台数	26,673	26,742
	主な拠点数	864	873
	中継センター	23	23
	営業所	428	429
	小規模店舗 ⁽²⁾	413	421

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

参考:連結フリーキャッシュ・フロー見通し

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 見通し ⁽³⁾
営業活動によるキャッシュ・フロー	818	1,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	△ 480
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	365	1,060

■ 2022年3月期の主な投資(実績)⁽³⁾

- ・不動産投資 : 320億円
- ・車両投資 : 160億円
- ・IT投資 : 60億円

※2022年3月期の投資CFには、投資有価証券の売却による収入151億円を含む

■ 2023年3月期 主な投資(見通し)⁽³⁾

- ・不動産投資 : 190億円
- ・IT投資 : 100億円
- ・車両投資 : 80億円

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー (3) 数値は概算値

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、㈱日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておりません、また、これを保証するものではありません。